

## 会議録

会議の名称	平成24年度 第1回加東市国民保護協議会、加東市防災会議
開催日時	平成24年12月20日(水) 14時00分から15時30分まで
開催場所	加東市多目的研修館2階 研修室
議長の氏名 (加東市長 安田正義)	
出席及び欠席委員の氏名	
出席	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所長 代理 副署長 松田普次</li> <li>2 農林水産省近畿農政局 鴨川・大川瀬ダム管理所長 古賀 保</li> <li>3 北播磨県民局長 総務企画室防災課長 安藤</li> <li>4 社警察署長 代理 警備課長 橋本裕章</li> <li>5 北はりま消防組合 消防長 岸本耕一</li> <li>6 副市長兼企画部長 山田義人</li> <li>7 技監 松井三思呂</li> <li>8 会計管理者 山本貴也</li> <li>9 総務部長 吉田秋広</li> <li>10 福祉部長 大橋武夫</li> <li>11 地域整備部長 岸本敏弘</li> <li>12 建設部長 利山尚由</li> <li>13 加東市民病院院長 金岡 保</li> <li>14 加東市民病院看護師 藤本英子</li> <li>15 健康課保健師 二木佳子</li> <li>16 教育長 藤本謙造</li> <li>17 加東市消防団 団長 大畑康洋</li> <li>18 関西電力(株)営業所長 代理 小笠原敏明</li> <li>19 大阪ガス(株)兵庫導管部 設備改善チームマネージャー 楠井佳博</li> <li>20 神姫バス(株) 西脇営業所長 丸田隆浩</li> <li>21 社団法人兵庫県トラック協会 北播支部長 櫻井光男</li> <li>22 社団法人小野市加東市医師会 副会長 田渕 光</li> <li>23 西日本高速道路(株) 福崎高速道路事務所長 中森康裕</li> <li>24 加東市区長会 会長 高瀬俊介</li> </ol>
欠席	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 陸上自衛隊青野ヶ原駐屯地 陸上自衛隊第8高射特科群第340高射中隊長 福永浩司</li> <li>2 上下水道部長 岡田孝志</li> <li>3 西日本電信電話(株)兵庫支店 災害対策室長代理 田村慎二</li> <li>4 西日本旅客鉄道(株) 加古川線区長 為広誠</li> <li>5 加東市民生児童委員協議会 会長 田中和美</li> </ol>

説明のため出席した者の職氏名

防災課 白井参事、中西副課長

出席した事務局職員の氏名及びその職名

防災課 白井参事、中西副課長、丸山専門員、藤野主幹

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

第1回 加東市国民保護協議会次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - (1) 加東市国民保護計画修正(案)について
  - (2) その他
- 4 閉会

第1回 加東市防災会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - (1) 加東市地域防災計画修正(案)について  
震災対策・風水害対策
  - (2) 加東市水防計画(案)について
  - (3) その他
- 4 閉会

平成25年7月2日

議長

安田正義

署名人

天畑康洋

署名人

高瀬俊介



平成24年度第1回国民保護協議会及び第1回加東市防災会議会議録

第1回国民保護協議会

1 開会

臼井参事

2 あいさつ

安田会長

みなさま、こんにちは。

東日本大震災から1年9ヶ月余り経過し、今年も後10日という時期を迎えておりますし、明日は冬至というそんな時期です。

先ほどから申し上げておりますが、年末のお忙しい中、また急な会議を開催させていただいたところ、お繰り合わせの上、ご出席いただいたこと、あらためてお礼を申し上げます。平素から、加東市民の安全安心の確保にそれぞれの立場からご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

昨年の12月に国の防災会議におきまして、国の防災基本計画が修正されました。それを受けて、兵庫県におきましても地震対策専門委員会が開催され、地震の被害想定が見直され、今年の3月に公表されました。それから、12月ということで相当な日が経っておりますが、加東市においても、見直しをすべく準備を進めてまいりました。その素案ができましたので、今日そのご説明をさせていただき、そのような状況でございます。

活断層の被害想定は、後ほどご説明申し上げますが、兵庫県の三木市から岡山の美作市まで走っている活断層で、特長のひとつは中国道に沿って走っているということが気になるところです。活断層の周期が、千数百年から二千数百年といわれており、868年に播磨の国の大地震があったということ、それから1,144年というこの時期です。ということは、すでにその周期に入っており、地震が起こる時期にきていると思います。その中で被害想定が見直されてきた。

私がつまづいているのが、兵庫県はため池が多いということでございます。全国に21万を超えるため池があり、その内兵庫県には47,596あり、47都道府県では一番多く、我々の北播磨5市1町では、7,345カ所、加東市では1,146のため池がある状況です。

昨年、加西市で大きなため池の決壊があり、災害が発生し、加東市においてもこの7月にある地域の堤防が決壊するということが、現実には起きている。そういったことも気になるところで、今回の計画の見直しにつきましては、ひとつは地震の被害想定の見直しを、これを中心におこななければならない、そういう中で警報の発令基準の見直し、水防計画については、警戒ため池の追加、更に国民保護計画におきましては、関係機関との連携あるいは近隣市町との応援協定、また、新たな災害応援協定の締結を修正追加しようとしているものでございます。

いずれにしても、ボリュームが多くございますので、今日は説明とご質問にお答えさせていただき、そして、またいろんなご意見を頂くという、そしてまたあらためて会議を開催させていただきたいと思っております。

市民生活、国民生活の安定、安全安心といったところに、ぜひそれぞれの立場でさらな

るお力添えを賜りますようお願い申し上げます、開会にあたってのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 議事

#### (1) 国民保護計画協議会(修正案)について

臼井参事

協議会条例第4条第2項の規定によりまして、過半数の出席がありますので、会議の成立を申し上げます。

協議会条例第4条第1項に基づき、議長は会長があたるとなっておりますので、安田会長進行をお願いいたします。

安田会長

それでは、これより加東市国民保護協議会を進めさせていただきます。

まず、議事としまして、加東市国民保護計画(修正案)について事務局から説明をお願いします。

臼井参事

<加東市国民保護計画(修正案)の説明>

安田会長

只今、加東市国民保護計画修正案ということで、気候に関する見直し、人口に関する見直し、さらには、市町そして消防の応援協定の見直し、関係機関との協定の見直し、また、新たな応援協定、協議会委員の構成の見直し案を申し上げました。

今の、説明に対しまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

特にございませんか。今日は、説明ということで全体の国民保護計画の中身、そして修正も含めまして、後ほどご意見をいただければと思います。

それでは、国民保護計画協議会はこれで終了させていただきます。

### 3 議事

#### (1) 加東市地域防災計画(修正案)について

安田会長

それでは、次に加東市防災会議を開催させていただきます。進行は事務局の方でお願いします。

まず、震災対策編(修正案)からお願いします。

中西副課長

<加東市地域防災計画震災対策編(修正案)の説明>

安田会長

引き続きまして、風水害対策編を説明お願いします。内容的に震災編と重複しているところは省略し、説明いたします。

中西副課長

<加東市地域防災計画風水害編(修正案)の説明>

(2) 加東市水防計画(修正案)について

安田会長

続きまして水防計画(修正案)の説明をお願いします。

中西副課長

<加東市水防計画(修正案)の説明>

安田会長

以上、加東市地域防災計画震災対策編(修正案)、加東市地域防災計画風水害編(修正案)、及び加東市水防計画(修正案)の説明をいたしました。ここまでの件について、何かご意見、ご質問はありますか。

高瀬委員(区長会長)

ちょっとお聞きする、私にもよくわからない、阪神大震災の当時に困ったことをお聞きしたいと思います。

西日本NTTの田村さんいらっしゃいましたら、ちょうど平成7年に地震が朝早く5時頃起きまして、それで電話がだめになり、たまたま私まだ早い時期でしたが、携帯電話を持ち合わせておりました。

全然携帯電話がかからないと。そして、通信手段は100人、200人が並んでいる公衆電話のみであったという記憶がございます。

この計画の中で、情報収集伝達で、携帯電話の利用等々がありますが、今後携帯電話の普及が進んでいくと思いますけども、一気に回線が混んでしまって電話がかからない状況になると思いますが、そのあたりわかる範囲で、その大きな災害が起こる時に、携帯電話は本当に瞬時に使えるのかどうか、わかる範囲でお聞きしたい。

臼井参事

ありがとうございます。本日西日本電信電話の田村様は欠席されております。

ご質疑につきましては、近日中に資料を持って行きまして、説明を兼ねて高瀬区長のこの質問に対し詳細に確認し、お知らせさせていただくという形でよろしいでしょうか。

高瀬委員(区長会長)

なぜ、このような質問をするかということ、私は地区の区長もしております、公民館に固定電話を置いております。私の経験から、村の者は、年間の3万円ほどの基本料金

は使わなくても必要であり、無駄であると言う考えで、外したらどうだと言われた。

それでも、私は平成7年時の経験がありまして、固定電話は最優先で繋いでくれるという記憶がございましたので、村の避難場所として公民館を利用することとしていますので、固定電話を置いておりますので、それで、聞いたわけです。

臼井参事

貴重な意見ありがとうございます。早急にこの件につきましては詳細等確認しまして連絡、またはこの計画の中に反映できる内容でしたら、修正案としてさせていただきます。

櫻井委員(トラック協会会長)

国民保護計画の案で7ページにJ-A L E R Tのことが書いてあるんですけど、ここには整備促進を図ると書いてあるんですけども、水防計画の方で聞いてたらJ-A L E R Tは配備されているとのことで、これが文言がおかしいのではないですか。

中西副課長

今ご指摘いただきましたとおり、申し訳ございません。確かに整備促進を図るとありますが、この意味の中では、J-A L E R Tからケーブルテレビを使ってそれぞれの各戸に情報を通達するのですけれども、中にもありましたとおり、一部加東市の中で、一部整備されていない地域があります。それも含めての整備促進という言葉に変えさせていただいたわけがございましたのですけれども、ご指摘いただきましたとおり誤解を招くような表現でございますので、整備をしておりますのでこれに合わせた言葉に修正させていただきます。

臼井参事

できましたら、女性委員さん、女性の立場からご意見がございましたらよろしく願います。

藤本委員(市民病院看護師)

加東市民病院の看護師の藤本でございます。たくさんの資料で十分まだ見れていないのですけれども、せっかくの女性の立場ということと、隣の保健師の二木さんとも仙台の方に行って、即答はできなのですけれど、備蓄のところではやっぱり高齢の方もいらっしゃるの、オムツであったりそういうところを持ち帰ってもう少し、足していただくようなものがあればいいのかなと思いました。

それから、備蓄をどういう風に更新していくのかなというのがひとつ。ちょうどインフルエンザの対応のときに、マスクを加東市にたくさん購入していただいて、病院の方で有効利用させていただいているのですが、食料も含めてどういう風に管理していくのかという所まで少し詰めて考えていただかないと病院で、給食の方は年に数回、備蓄米を入院されている患者様に提供することをして、今日は備蓄米ですよということを周知しているのですが、保管の問題もありますし、特にどこにどれだけのものがいったと

ころが必要なのかなと思います。

後、地震対策編の所に病院部で院長とも相談しようかなと、2番目に医療救護及び助産に関することと入っているのですけれど、今、産科の方は閉鎖しておりますので、この意味合いがどの程度の範囲があるのかなということと、4番目の死体懸案等に関するところで、一番目に負傷者の治療にあたっているとこの辺がマンパワーの問題もあるのかなと感じました。

## 二木委員(健康課保健師)

健康課保健師の二木です。今回、女性の立場ということで、私も東日本大震災の三陸町の方に3ヶ月後でしたが、避難所と仮設をまわりましたので、その経験生かしまして、こうしたプライバシーの確保でありますとか、物品、女性と子ども、小さなお子さんに対して、物品等追加があると思いますので、今度意見を言わせていただきたいと思っております。

特に、洗面であるとか女性の身だしなみとか、お化粧品も困って、ライフラインが確保されないときは、赤ちゃんの紙おむつや、お尻を拭くナプキンで顔を拭いたり、ということを知っておりますので、また意見を言わせてもらいたいと思っております。それと、市民の安全、命の安全、要援護者対策、そういったことにつきましても、ほんとに平常時からの意識も大事だと思っておりますし、マンパワーもかなりこういった大震災を受けた場合のマンパワーの不足をすごく感じておりましたので、そういった横の連携がすごく大事と考えておりますので、そちらの方についても、病院の方、地域の保険医療関係者との連携について、強化できるようなことを考えておりますので、そういった記載も大事かと思っております。

## 臼井参事

ありがとうございました。病院の方からお聞きしました件、女性の関係ですね。この件につきましては、個別に相談させていただきまして、いろんな女性用品もございます。また、インフルエンザ対策でマスク、市のマスク、備蓄米を購入しております。

災害におきましても、備蓄倉庫に備蓄しておりますけれども、インフルエンザ対策のアルファ化米につきましては、一応5年の保存年がございますので、残り1年になったところですね、地区の自主防災組織の訓練に持って行きまして、試食をしていただいているところで、そういった形で消費をしております。

同じく、災害分についてもそういった形でしておりますので、今後、備蓄品について、女性のいろんな用品等々、また、東日本大震災ではそういった女性の不足した物品等警鐘されておりますので、それをもう少し詳細に調べまして、また、委員さんの意見を聞きまして、修正分の方へ埋め込んでいきたいと思っております。

それから、病院部につきまして、あらためて院長さんにいろんな意見を聞きまして、病院部につきましても、個別に相談させていただいて、是非ご指導をお願いしたいと思っております。

それから、保健師の方から健康課の二木の方からあったわけですけど、やはり子どもを含む、いろんな備蓄品等々高齢者も当然ですが、子どもを含めたそういった物も

う少し改めて、明確にしましてですね、化粧水とか今回の修正案につきましては、自前で防災課の職員が手作業で作っております。男性が作っておりますので、特に女性の具体的な備品等もございますので、そういったものを改めてご相談させていただいて、ご指導を仰ぎたいと思っております。

金岡委員(市民病院院長)

市民病院の院長の金岡と申します。

一点お聞きしたいというか、お願いしたいのですけれど、おそらく山崎断層の地震が起きたときに、この近辺の人たちの協力が難しくなって、移動もむずかしくなって、だけど、この特長として、例えば関東とか九州とかそこらへんの人達の応援は十分頼めると思うのですけれど、その移動手段として、今回の訂正のところで、陸上自衛隊の青野ヶ原駐屯地のへの知事を介した要請とか、あと、北はりま消防本部がまた別枠で書かれてあって、更にドクターヘリとかいう形で、ヘリコプターを要請して、本部長が実際瞬時に状況を把握して、それとともに、病院の助産の問題が出ましたけど、おそらく私たち病院は、人は提供、十分対応できないと思われまますけれど、市立病院なので、建物とその設備そういったところは十分使えるので、瞬時に必要であれば、関東九州というか、あるいは海外からそれをできる人を直ぐに人を派遣してもらって、そのような対応をとらないといけないけど、その判断を瞬時にする、ヘリコプターとかそういったものがあるかどうかという、その、大前提の所を盛り込まれてないので、そこをお聞きしたい。

臼井参事

マンパワーと防災ヘリの関係ですが、先般、社中学校でも、警察の航空隊、また、北はりま消防組合の方も消防の防災ヘリ等々につきましては協定を結んでおります。そういった中で、やはり台数も少ない、広域的な災害が起きた場合、やはり、局地の災害であれば対応できると思うのですけれど、それらにつきまして、また、消防組合の方と内容を十分に精査して、人的な、被災者の派遣、また、ヘリの利用そういったものをこの修正案の中に、具体的に明記をしていきたいと思っておりますので、貴重な意見ありがとうございます。

消防長もきておりますので、あらためて、明記をしていきたいと思っております。

大畑委員(消防団長)

加東市の水防計画の方でお聞きしたい。ため池の決壊があったということで、ため池のことはよく書かれているのですが、加古川の川が氾濫したときというか、丹波市、西脇市の方でたくさん雨が降って、どれぐらいの雨が降ったときに、加古川の水位が上がった時に、どういう被害がでるといふシュミレーションというか想定のものみたいなものが見れるんでしょうかと思っております。

いつも、たくさん雨が降ると滝野の座の浜、あの辺りが水位が上がって、下滝野あの辺りがよくつかりますので、あの辺りは堤防もございませんし、下滝野方も良く浸かりますので、よく消防団も出ますので、その辺りシミュレーションができないかなと思って、いつも心配しているのですが。

白井参事

河川の水害の関係ですが、今、国交省の姫路河川国道事務所が上滝野、下滝野、河高地区3地区におきまして、社会実験事業ということで、マイ防災マップの作成で現地に入らせていただいております。あわせまして、予断になりますが公民館には避難所の看板、そして危険水域と避難水位等を護岸に表示をしていただき、そういうことを年度末にさせていただくことになっておりますので、本日の委員さんには、姫路河川国道事務所の松田副所長さんもおられますので、あわせまして、防災計画、水防計画につきましても、十分に見ていただきまして、シミュレーション出来ます様な文言も入れたいと思います。今の状況でしたら、西脇が河川の整備をされまして、平成16年の台風23号の水位が今西脇は1.8m水位が低くなっている。その逆で加東市鬮龍灘につきましても、そこまできましたら、かなり水位が上がるということになってきております。

そういった中で、市のハザードマップは延べの雨量が290mm程度で今のハザードマップの色分けした水位になるということでございますので、この水防計画にも具体的な加古川水系、千鳥川の県の管理もございますので、関係部署へはいろんな形で、明記できないか相談をかけて、具体的な文言等々の修正をさせていただきます。

他にございませんか。予定した時間もきております。

このような膨大な資料で、短時間の説明で、なおかつ、ご質問というのはご迷惑をかけたかと思いますが、あらためて、1月末までにご意見をいただきまして、この修正案に反映させていただきたいと思っております。

それとあわせまして、今日欠席の委員様には、資料を持って行きまして、先ほどの区長会長のご質問、また、消防団長のご質問につきましても、十分に指導を仰いで修正案に盛り込んでいきたいと思っております。

また、市の関係部局につきましても、メールにてご意見等1月末までにご報告いただきますようお願いしたいと思います。

そういった形で、今後のスケジュールでございますが、1月末に意見集約しまして、2月には修正案の確定をしていきたい。いろんな、意見を伺い、防災計画を確定したいと考えております。

そういった形で進めていきたいと考えておりますので、電話、メールでも結構ですので、防災課までご一報いただければと思います。

本日は、お忙しい中ありがとうございました。以上で国民保護計画協議会も含めまして終了させていただきます。本日は、本当にありがとうございました。